

ミュージカル
忍たま乱太郎 第13弾

ふらこそ！ 忍たま文化祭！

NHK カルチャー特別講座

資料用 上演台本

原作 尼子騷兵衛

脚本・作詞・演出 | 竹本敏彰 音楽監督・作曲・編曲 | 玉麻尚一

振付 | 当銀大輔 殺陣 | 高橋 光

殺陣監修 | 今井靖彦

臨兵闘者皆陣烈在前

ミュージカル・ナンバー

M 1
M 2
M 3
M 4
M 5
M 6
M 7
M 8
M 9
M 10
M 11
M 12
M 13
M 14
M 15
M 16

一年は組！全員集合！
 まだまだ！
 困ったさんの小松田さん
 ドクタケ様は悪の華
 暗殺者のブルース
 ウキウキワクワク委員会
 南蛮コレクション
 今夜は君と忍び隊
エウソウウンニンジャ
 Eu sou um ninja.
 やり遂げよう！！ ～最後の忍務～
しら
 月の報せ
 未来は微笑む
 忍たま物語
 まだまだ！（リプライズ）
 忍者はガッツ！
 勇気 100%

一年生・土井半助
 四・五・六年生
 小松田秀作・学園勢
 ドクタケ忍者隊
 万寿鳥・土寿鳥
 学園勢
 五年生
 四年生
 四・五・六年生
 六年生
 土井半助
 一年生・六年生
 大川平次渦正・学園勢・雑渡昆奈門
 学園勢
 カンパニー
 カンパニー
 カンパニー

2分30秒
 3分24秒
 2分37秒
 2分26秒
 0分52秒
 2分21秒
 2分24秒
 1分54秒
 2分41秒
 2分00秒
 1分25秒
 2分30秒
 4分13秒
 1分20秒
 3分15秒
 4分

キャスト

| 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 役名 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|----------------------|
| 福富しんべエ | 猪名寺乱太郎 | 猪名寺乱太郎 | 濱守一郎 | 綾部喜八郎 | 平滝夜叉丸 | 尾浜勘右衛門 | 久々知兵助 | 善法寺伊作 | 食満留三郎 | 七松小平太 | 中在家長次 | 潮江文次郎 | 立花仙蔵 | たちばなせんぞう しおえもんじろう |
| 東條桜典 | 鈴木琉音 | 鈴木琉音 | 飯塚大夢 | 大谷誠 | 龍人 | 佐藤智広 | 山木透 | 反橋宗一郎 | 鈴木祐次 | 坂垣怜次 | 新井雄也 | 渡辺和貴 | 湯本健一 | ゆもとけんいち わたなべかずき |
| 武井瑠可 | 伊奈聖嵐 | 伊奈聖嵐 | 細田梨太 | | | | | | | | | | | |
| 一年は組10歳A型 | 一年は組10歳B型 | 一年は組10歳O型 | 四年は組13歳B型 | 四年は組13歳AB型 | 四年は組13歳B型 | 五年は組14歳O型 | 五年は組14歳A型 | 六年は組15歳O型 | 六年は組15歳A型 | 六年は組15歳O型 | 六年は組15歳AB型 | 六年は組15歳B型 | 六年は組15歳AB型 | |
| 用具委員会 | 図書委員会 | 保健委員会 | 用具委員会 | 作法委員会 | 体育委員会 | 学級委員長委員会 | 火薬委員会 | 用具委員会 | 用具委員会 | 用具委員会 | 用具委員会 | 用具委員会 | 用具委員会 | 用具委員会 |
| | | | 南蛮鉤 | 踏鋤・手鋤 | 戦輪 | 万力鎖 | 寸鉄 | 乱定剣 | 鉄双节棍 | 苦無 | 縄鏢 | 袋鎧 | 宝禄火矢 | 武器・道具 |
| | | | | | | | | | | | | | | 所属委員会 |

(c) 尼子騒兵衛 / NHK・NEP
(c) ミュージカル「忍たま乱太郎」製作委員会

| | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|----------|---------|---------|-----------|-----------|-------------|------------|------------|-----------------------|
| 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 |
| 土寿烏・維渡昆奈門 | 万寿烏・占部新左子所 | 曇鬼・パパ・食堂 | 俊鬼 | 竜鬼 | キヤブマン・達魔鬼 | 稗田八方齋 | 小松田秀作 | 山田伝蔵 | 土井半助 | 大川平次渦正 |
| 翁長卓 | 森大 | 開沼豊 | 伊藤俊 | 小笠原竜哉 | 高橋光 | 幹山恭市 | 輝山立 | 今井靖彦 | 一洗 | 迫英雄 |
| 暗殺者〈弟〉 | 暗殺者〈兄〉 | ドクタケ忍者隊 | ドクタケ忍者隊 | ドクタケ忍者隊 | 水軍創設準備室室長 | ドクタケ忍者隊首領 | 忍術学園事務員 16歳 | 一年は組実技担当教師 | 一年は組教科担当教師 | 忍術学園学園長 |
| 忍刀 | 忍刀 | 忍刀 | 忍刀 | 忍刀 | 忍刀 | 忍刀 | 忍刀 | 忍刀 | 忍刀 | 杖 |
| | | | | | | | | | | 学級委員長委員会顧問 大薬委員会顧問 |

第九場 忍術学園 学園長の部屋（朝）

一景 しんべエのパパ登場（1分45秒）【照明】中段

SE【鳥のさえずり】【小道具】お盆と湯飲み、座布団2枚、カステーラ。

5

小松田秀作 「学園長先生、お連れしました」

学園長 「お通して下さ〜」

小松田秀作 「はい。どうぞ」

しんべエ 「（オフ）ちよつとやめてよお〜、（登場）恥ずかしいじゃないかあ〜」

10 しんべエのパパ 「（登場）いいじゃないか、しんべエ。久しぶりに会ったんだ。パパに抱っこさせておくれよお〜」

しんべエ 「イヤだつてば」

学園長 「しんべエのパパ、ようこそ忍術学園へ」

しんべエのパパ 「いやあ学園長先生、いつも息子のしんべエがお世話になっています。これ南蛮渡来

15 のカステーラでございます。皆さんで食べテ〜ラ。ヌハハハッ！」

土井先生 「ありがとうございます」

学園長 「どうぞお座り下さい」

しんべエのパパ 「失礼します」

小松田秀作 「お茶をどうぞ」

20 しんべエのパパ 「ありがとうございます。お茶を飲みますズズズズ。アチチチチ。ヌハハハッ！」

しんべエ 「パパ！早くお話しして！」

しんべエのパパ 「そうだなしんべエ。（雰囲気変えて）学園長先生、息子から文化祭で劇をやるよ

NHKカルチャー特別講座資料

聞きました。劇はお金が掛かあるーだがいいいものを作らねばならぬーだからお金は私に任せえーる」

山田先生 「なんと！」

土井先生 「本当ですかッ！」

5 しんべエのパパ 「この堺の大貿易商、福富屋に嘘はありません！」

学園長 「お気持ち嬉しいのですが、」

しんべエのパパ 「(制)愛する息子のため少々出しゃばらせてもらいますよおーポン。帰ります！」
土井先生 「早ッ！」

10 しんべエのパパ 「授業前のお忙しい時間に失礼しました。そして、親バカで失礼しました。学園長先生(耳打)内緒の話はゴソゴソゴソ」

学園長 「なるほど、それは面白い」

しんべエのパパ 「でしょう」

学園長 「では図書委員会の中在家長次に伝えておきます」

15 しんべエのパパ 「お願いしますね。それではこれで失礼^{しま}仕る。そちらから入ったのに何故かこちらから失礼^{しま}仕る。又ハハハッ！」

パパ、中央から下段に。乱太郎、きり丸が下段下手に。

二景 しんべエのパパと乱太郎・きり丸 (55秒)

20 乱太郎 「シンベエのパパさん！」

きり丸 「こんにちは！」

しんべエのパパ 「おお乱太郎くんいきり丸くん。いつもしんべエの鼻水を拭いてくれてありがとう。」

NHKカルチャー特別講座資料

これからも仲良くしてやってください」

乱・きり 「はい！」

5 しんべエのパパ 「きり丸くん。貯金箱の事聞きました。なかなかできる事じゃありませんよ。君はただのドケチではなかった。その話を聞かなければ、私はここに來ることはなかった。本番楽しみにしているよ」

きり丸 「はい」

しんべエのパパ 「それじゃしんべエ、しつかりな」

しんべエ 「うん！」

しんべエのパパ 「又ハハハッ！」

10 しんべエ 「パパ！（パパ振り返り）ありがとう！」

しんべエのパパ 「しんべエ、最後に抱っこさせておくれよお」

しんべエ 「うわあゝやだつてばゝ（退場）」

しんべエのパパ 「しんべエえゝ（退場）」

15 しんべエ親子下段下手退場。

乱太郎 「きり丸、良かったね」

きり丸 「うん！」

乱太郎 「忍たま物語。どんなお話になるんだろう!？」

20 乱・きり 「チョー楽しみッ！」

下手退場。中在家下段上手板付き

三景ストーリーテラー中在家②〜善法寺伊作① (45秒)

【照明】中在家サス

5

中在家長次 「しんべエ。パパの計らいによって文次郎の悩みの種は消えましたが、また新たな種が生まれたのです。それは、忍たま物語の主人公を、しんべエにして欲しいという、パパからお願いでした。(頭抱え)もそもそもそ……」

【照明元に戻る】 善法寺登場。※着替え

10

善法寺伊作 「長次。大丈夫？」
中在家長次 「うん、だあいじょおーぶ。もそもそ……」

中在家上手退場。【照明】善法寺サス

15

善法寺伊作 「(客向)長次が大丈夫じゃないので物語を語る、善法寺伊作です。(R)長次は重
庄に耐えながら台本を書き進めました。そんな時、学園長先生の部屋からまた
薬の紙が見つかり、不安に耐えきれなくなった僕は行動に出たのです」

善法寺、一度上手に退場。

四景 学園長の薬(勘違い)【夕方】 (1分40秒)

20

【照明】中段、学園長の部屋。障子の奥に学園長のシルエット。
山田先生が杖を持って、中段下手から登場して障子の前に。

山田先生 「学園長先生、山田です。杖の修理の件で報告があります」

NHKカルチャー特別講座資料

学園長 「入って下さい」

山田先生 「(障子開け入る)失礼します」

学園長 「今丁度、青々汁々を飲むところでしたので、ちょっと待っててもらえますか?」

山田先生 「はい。ああ、水を入れましょう」

5 学園長 「すみません」

山田先生 「続けてますね」

学園長 「はい、健康のために」

善法寺と中在家が上手中段に登場。学園長部屋のやり取りを聞く。

10 中在家長次 「待って待て伊作!」

善法寺伊作 「長次止めないで。どうしても聞きたいんだ」

中在家長次 「分かった。ではこうしよう。学園長先生への質問は、それとなく聞くように」

善法寺伊作 「うん」

15 中在家長次 「そして、何があっても取り乱さぬように」

善法寺伊作 「大丈夫。僕、保健委員だから」

学園長 「(むせる)ゴホゴホゴッ」

M9C 学園長の薬へBGM

20

山田先生 「学園長先生、大丈夫ですか!?水を飲んで下さい」

学園長 「ああすみません、これはとても苦い」

NHKカルチャー特別講座資料

山田先生

「良薬口に苦しと言いますから。体のためにも我慢して飲んで下さい」

学園長

「そうですね(水)お待たせしました。それで見てもらった結果は如何でしたか?」

山田先生

「はい。それが思ったより状態が悪く直すのは難しいとの事です。何やら大事な部分の部分が腐りかけているようで」

5 中在家長次

「\$#%&#(口を覆い)」

学園長

「芯が腐つてる!?!」

山田先生

「はい」

学園長

「そうでしたか。長年使ってきましたからな。ガタが来てもおかしくないですね。それで、このままだと、あとどれ位持つんでしょう?」

10 山田先生

「せいせい持つて、一月も書も書かませませ」

善法寺伊作

「&%\$%#(口を覆い)」

学園長

「一月ですか!?分かりました。それまでに代替りの物を探すとしましょう」

山田先生

「はい」

15

五景ストーリーテラー食満①〜深刻な六年生【夜】

(5分20秒)

【照明】学園長部屋障子シルエット消える。木戸閉まる。

潮江と七松が中段下手から。食満と立花が下段下手から登場。

【照明】食満サス(下段下手前)

20

食満留三郎

「(客向)伊作と長次から話を聞いた俺たちは、経験したことのない重苦しい空気に包まれていました」

【照明元に戻る】 深刻な表情の六年生。SE【虫の音】

中在家長次 「…この事は、六年生の胸に納めておこう」

立花仙蔵 「学園長先生の命が、あと一月ひとつきだなんて。悪い夢なら覚めて欲しい」

5 潮江文次郎 「大事な心の臓が、腐りかけてたなんて」

食満留三郎 「恐らく気力だけで立っているに違いない」

善法寺伊作 「きつと自分の病気に気付いていたと思う」

七松小平太 「だから最後に、みんなで文化祭をやつて、想い出作ろうつて思ったんだ！」

立花仙蔵 「それに、文次郎と留三郎が仲良くしている姿を見てみたいって、まるで遺言のよ

10 うに」

善法寺伊作 「長次ごめん、やつぱり聞きに行こうなんて思わなきゃよかった」

中在家長次 「いいや！遅かれ早かれこうなつた！だが学園長先生は毅然として立派だった！

生きてる間に自分の代わりの者を探すと仰っていた」

七松小平太 「学園長先生が学園長だから！忍術学園なんだ！私は！学園長先生がいない忍

15 術学園なんて考えたくないッ！」

立花仙蔵 「でも一番辛いはずの学園長先生が、毅然と振る舞っているんだ！私たちだって」

食満留三郎 「そうだ！俺たちで文化祭を成功させるべきだ！」

潮江文次郎 「きつとこの文化祭は、学園長先生が俺たちにあてた最後の忍務なんだ」

食満留三郎 「最後の…」

20 潮江文次郎 「劇をやるという事はいくさと同じだ。戦略図という名の台本を描えがき、役割を決

め、筋書きに沿って行動する。全員が団結しなければ成し得ない。学園長先生は最後に、この難しい忍務を俺たちに与え、あの世へ旅立つつもりなんだッ！」

NHKカルチャー特別講座資料

M10 やり遂げよう!! ～最後の忍務～

～ 六年生 ～
(2分)

食満留三郎 「(3小節)文次郎！お前とは無期限の停戦協定を結びたい！学園長先生の為にも！」

5 潮江文次郎 「望むところだ留三郎！戻ろう！仲良しだったあの頃に！」

食満留三郎 「ああ！（固く抱き合う）」（歌い出し18秒）

〈立花・七松・善法寺・立花〉

潮江・食満

やり遂げよう 俺たちの手で

やり遂げよう Oh—

やり遂げよう 立ち止まらずに

俺たちの手で 立ち止まらずに

10 六年生

やり遂げよう 出来るはず

やり遂げよう 最後の忍務を

六年生

うつむいて涙するその前に

やるべきことが目の前に

悲しみは胸に忍ばせ

向かい風に帆を上げる

15

堪え忍べ 試練の時

秘めた涙は流さない

強くあれ 絆結べ

これが最後の忍務

20

NHKカルチャー特別講座資料

六年生

やり遂げよう 俺たちの手で

やり遂げよう 立ち止まらずに

やり遂げよう 出来るはず

成し遂げよう 最後の忍務を Oh | Oh | Oh |

5

後奏4小節。M10終了。

立花仙蔵

「やろう。役割を決め、完璧に！」

立花以外

「ああ！」

10

立花仙蔵

「まず、長次が本を書く(うん)

中在家長次

「小平太が舞台を監督する(うん)

七松小平太

「留三郎が道具を揃える(うん)

食満留三郎

「文次郎が運営を行い(うん)

潮江文次郎

「伊作が演出」

15

善法寺伊作

「(拳)助手をやる。(うん)そして仙蔵が演出をする(うん)

立花仙蔵

「私はそういうのは苦手なので」

善法寺伊作

「演出をする(うん)完璧に(うん)」

立花仙蔵

「……(うん)

七松小平太

「よし、やるぞーッ！」 ※六年生は小道具を取りに退場。

20

M10A

長次が描く世界へBGM

(荘厳感。鐘が断続的に遠くで鳴る)

中在家は下段中央へ移動。中在家以外は小道具取りに退場して戻る。

中在家長次 「（移動モソモソ）私は描^かきたい。愛に溢れ、光に溢れた忍術学園を。私は描^かきたい。師を仰ぎ、仲間を想う忍術学園を。私は描^かきたい！忍たま物語を！」

5 七松小平太 「長次！机だ！（置く）※座布団が机上に。長次机に移動。

潮江文次郎 「半紙だ！」

立花仙蔵 「墨と硯^{すずり}だ！」

食満留三郎 「筆だ！」

善法寺伊作 「長次、お茶！」

10 中在家長次 「ありがとう。運営の文次郎」

潮江文次郎 「おう！」

中在家長次 「ドクタケとドスマスに、出演依頼をして欲しい」

潮江文次郎 「敵^{かたきやく}役だな。任せろ！」

七松小平太 「長次、どんな話を書くんだ!？」

15 中在家長次 「物語の始まりは、こんな感じだ・・・」

【照明】中在家サス溶暗。中在家以外退場。

（10分25秒）

〈70分15秒〉

第十場 ドクタケ城〜忍術学園〈劇中劇〉(夜)

一景 劇中劇① (1分30秒)

5 M11 月の報せしらせ

前奏30秒。壮大な音楽の始まり。中在家サス。

【映像】雲が早廻しのように流れ、景色が変化してゆく。

徐々に闇に包まれ霧が立ち込め、赤い月が現れる。

土井先生上段に登場。

10

土井半助

霧に仄ほめく赤い月

雲ひとつ動かぬ まやかしの夜

何かが起こる この胸騒ぎ

不吉な前触れ

15

音楽M11Aに乗り変わる。

二景 ドクタケ天下統一計画(ドクタケ城) (1分05秒)

20

M11A 城の継承者を捜し出せ!〈BGM〉

中段から達魔鬼・竜鬼・俊鬼登場。

達魔鬼 「申し上げまゝす！八方斎様！只今、満腹城の城主、多部杉蔵がこの世を去りま

した！」 SE【シヤキン】

八方斎 「(障子を開け登場)何！討ち死にか！」

5 達魔鬼 「いえ！満腹城の料理人として、我が忍者隊の曇鬼を潜り込ませ、多部杉蔵、

早寿の祝いの昨夜！親族が一堂に会した宴の席で、キノコの毒を使い、全員苦悶の果てに絶命しました！」

八方斎 「でかしたぞ達魔鬼！満腹城が我々の手中に落ちれば、ドクタケ天下統一が近づ

く！多部杉蔵、食いしん坊が仇となつたな！」

10 達魔鬼 「しかし八方斎様、子沢山で知られる多部杉蔵の子は101人！昨夜の宴に一人足り

なかつたと！」

八方斎 「何ッ！」

竜鬼 「年の頃10歳の男の子です！」

俊鬼 「男の子です！」

15 八方斎 「城の継承者が生きていてはマズい！捜し出せえッ！」

達・竜・俊鬼 「ハッ！」

八方斎 「101人目の食いしん坊を、今すぐ捜し出せッ！」

達・竜・俊鬼 「ハッ！」

20 ドクタケ忍者隊、四方に退場。

三景 万寿鳥・土寿鳥横取り計画(ドクタケ城付近) (10秒)ギャラリー上下手ドスマス登場

M11B ドスマス横取り計画〈BGM〉

土寿鳥 「兄貴、ドクタケの獲物を先に捕まえれば、高く売れるな」

万寿鳥 「ああ、だが土寿鳥、もつと高く売れる物がある」

5 土寿鳥 「なに!？」

万寿鳥 「まずそいつを手に入れよう」

ドスマス退場。

四景 殿様しんべエ(忍術学園) 【映像】忍術学園夜 (2分30秒)

10 下段上手から土井先生、乱太郎、きり丸、しんべエ、山田先生が登場。

山田先生は周囲をかなり警戒している。学園長は杖を持つ。
【小道具】一年生背中荷物。

M11C 継承者〈BGM〉

15 土井先生 「急ぎなさい！」

乱・きり・しんべいはいー!

下段上手から、学園長登場。小松田は上段近辺で見張り。

20 土井先生 「学園長先生、お待たせしました」

学園長 「乱太郎、きり丸、しんべエ、大事なことじゃから良く聞きなさい」

NHKカルチャー特別講座資料

乱・きり・しん「はい！」

学園長先生 「突然だがお前たちは、今すぐここを出て、身を隠さねばなりません」

きり丸 「どうしてですか!？」

学園長 「暗殺者が命を奪いに来るからじゃ」

5 乱太郎 「暗殺者・・・」

学園長 「しんべエよく聞きなさい。実はお前のお父上は、満腹城七代目城主、多部杉蔵な

のです」

しんべエ 「そんな人知りません」

学園長 「無理もない。満腹城の継承者を絶やさぬため、内密に育てねばならなかった。そ

10 の証拠に、あなたの首元には多部家の家紋が」

【映像】家紋(三串団子)SE【小鼓】

M I I D 家紋はお団子へ歌あり

15

きり丸 「なんだこれ!？」

乱太郎 「お団子の家紋だ!」

しんべエ 「おだん!」「嬉し!」

学園長 「そのお父上が昨夜亡くなられ、しんべエは、満腹城八代目城主となったのです。

20 殿様となったのです」

乱・きり 「殿様ツ!？」

しんべエ 「聞いてませ〜んツ!」

NHKカルチャー特別講座資料

学園長 「受け入れるのです」

土井先生 「暗殺者は同じ年の子を探してここに来る！だから乱太郎ときり丸も危ないんだ。分かるね」

乱・きり 「はい」

5 しんべエ 「ゴメンね、僕が急に殿様になっちゃったから・・・」

M11E 別れへBGM

学園長 「乱太郎、きり丸、お別れの挨拶をしなさい。もうしんべエとは会えなくなるだろう」

10 う

乱太郎 「しんべエ、今までありがとう。さみしいけど、ここでお別れだね」

きり丸 「達者で暮らせよ。殿様になっても、俺たちの事忘れないでくれよ」

しんべエ 「僕殿様になんかなりたくない！乱太郎ときり丸と、ずっと一緒にいたい！」

15 SE【カミナリ】 【照明】小松田に高速で渦を巻くサス

小松田が学園に近づく影に反応する

土井先生 「小松田くん、どうした!？」

小松田秀作 「・・・何かを感じている」

20 山田先生 「何かが近づいている！お前たち！」

M11F 忍び寄る影へBGM

NHKカルチャー特別講座資料

四・六年生が颯爽と登場。(得意武器)【小道具】六年生背巾荷物

山田先生 「四年生は学園を！六年生は乱太郎、きり丸、しんべエを守るのだ！」

5 六年生 「はい！」

土井先生 「六年生！追う手を分散させるため、さんて三手に別れろ！」

六年生 「はい！」

善法寺伊作 「乱太郎は僕たちが！(七松と)」(乱太郎移動)

立花仙蔵 「きり丸は私たちが！(中在家と)」(きり丸移動)

10 潮江文次郎 「殿は！」

潮江・食満 「我々がお守りします！」(しんべエ移動)

学園長 「頼んだぞ！」

六年生 「はい！愛する学園長先生！」

15 M11G 小松田追跡モード／竜鬼のホラ吹きへ歌あり

小松田秀作 ♪入門者！(退場してドスマス方向へ)

山田先生 「行けえッ！」

四・六年生 「はい！」

20 乱・きり 「しんべエッ！」

六年生は三手に別れて退場。中段上手・下手・舞台奥

五景 ドクタケ vs 忍術学園

(25秒＋戦闘45秒) ドクタケ忍者隊、下段下手登場。

竜鬼がホラ貝を吹こうとして止められる。

5

M11H ドクタケ登場へBGM

八方齋

「こんばんは、夜分に失礼します。こちらで年の頃10歳、首元に家紋がある子を探しています。ご存知でしたら、こちらへ連れてきて頂きたい」

学園長

「あいにく、そのような子にはおりません。お引き取りを」

10

八方齋

「分かりました」

ドクタケ

「さようなら(礼)」

達魔鬼

「という訳にはいかないんですよ」SE【カチャカキーン】(山田先生と剣を交える)

15

M11I 戦闘へBGM (ドクタケ vs 忍術学園) 【殺陣あり】

八方齋

「探せえッ！」

四年生・山田・土井・学園長とドクタケ忍者隊との戦い。

20 全員

「(所々、へい!やあ! 等)」

M11I終了。四年・土井先生退場。

六景 豆腐博士と尾浜勘右衛門

(1分40秒)

5

M11J 究極の高野豆腐へBGM

久々知と尾浜が登場。久々知は豆腐博士という、年配の役どころを演じている設定のため、白髷に白衣を着る。

尾浜は豆腐博士の助手という設定で割烹着。【小道具】鍋を持っている。

10 久々知(博士)「尾浜くん、丁寧に扱ってくれよ。豆腐は生きているんだ」

尾浜勘右衛門「はい、豆腐博士」

久々知(博士)「その鍋に、ワシが作ったレシピの最終工程を加えれば完成じゃ」

尾浜勘右衛門「完成したらすぐに乱太郎たちに持たせます」

久々知(博士)「そうしなさい。この高野丸が彼らを救ってくれるだろう」

15 尾浜勘右衛門「博士、感謝致します！」

久々知(博士)「礼などいらぬ。尾浜くん、豆腐委員会に入りなさい」

尾浜勘右衛門「考えます」

小松田秀作「(登場)豆腐博士！敵です。逃げてください！」

20

M11K ドスマス登場へBGM

続いてドスマス登場。

久々知(博士)「お前たちは誰じゃ！」

万寿鳥 「最強の暗殺者だ」

小松田秀作 「サインお願いします」

5 土寿鳥 「あ、はい」

土・万寿鳥 「(入門票にサイン)」

小松田秀作 「博士！僕がサインもらっているうちに逃げてください。早く」

久々知(博士)「そう言うなら、なぜ敵を入れるんじゃ！」

小松田秀作 「そういう決まりなんです！」

10 尾浜勘右衛門「博士下がってください！」

久々知(博士)「おい暗殺者！何が目的じゃ！ウシらは豆腐の研究をしているだけじゃ、命を狙わ

れる覚えはない」

万寿鳥 「俺たちの目的は、その豆腐のレシピだ」

土寿鳥 「戦好きの奴らに高く売れるらしい」

15 久々知(博士)「このレシピは、ワシの豆腐人生そのものだ！死んでも渡さんぞお」

万寿鳥 「では死んでもらおう」

久々知(博士)「だから死んでも渡さんのだよ！」

M11L ドスマスバトル(BGM) 【殺陣あり】

20

尾浜勘右衛門「小松田さん！博士とレシピを守って下さい！」

小松田秀作 「出来ません！僕はただの事務員なんです！」

尾浜勘右衛門「あなたなら出来ます！」

久々知兵助 「小松田くん、これがレシピだ。頼んだよ」
小松田秀作 「(受取り)はい！今、お預かり書を書きます！」
久々知兵助 「いらん！」

5

【殺陣】ドスマスの攻撃。尾浜は鍋を置いて戦う。小松田も参戦。
小松田ドスマスの攻撃で傷つく。ドスマス攻撃で鍋が転がる。

10

小松田秀作 「博士！(ドスマス攻撃)ああ！」(博士を守るうとして)
尾浜勘右衛門「小松田さん！SE【斬り】 斬られたあゝ」

久々知兵助 「尾浜くん！」
尾浜勘右衛門「はか…せ…」
久々知兵助 「おはまくん…」

万寿鳥 「さあレシピを渡せ、さもないと博士の命はない」

15

久々知(博士)「小松田くん！ウシのことなどどうでもいい、そのレシピを渡さんでくれえ」
万寿鳥 「さあどうする!？」

小松田秀作 「…分かりました。レシピを渡したら、ちゃんと、受取書書いてもらえますか」
久々知(博士)「アホかあゝッ！」

20

七景 助つ人に来た四年生

(30秒)

SE【手裏剣シューン×3】カキン×3
ドスマスは刀で交わす。四年生が登場。

M11M 助っ人四年生〈BGM〉【殺陣あり】

平滝夜叉丸 「博士！」

綾部喜八郎 「博士！」

5 浜守一郎 「博士♡」

久々知兵助 「豆腐レンジャー」

尾浜勘右衛門「乱太郎たちは!」

浜守一郎 「既に出発したわよ♡」

尾浜勘右衛門「しまった!遅かったか!豆腐レンジャー博士をお守りするんだ!」

10 四年生 「はい!」

尾浜、投げ焙烙でドスマスを煙に巻く。

SE【ドカーン】映像【爆発】効果【噴射強煙】 全員退場。

八景 ドクタケの殿様搜索 (40秒)

15

M11N ドクタケの搜索 〈BGM〉

ドクタケ達魔鬼、竜鬼、俊鬼が登場。

20 達魔鬼 「八方斎様。年の頃10歳、一年生の姿がありませんでした」

俊鬼 「六年生もいません」

竜鬼 「裏山へ続く道に、多数の足跡が!」

NHKカルチャー特別講座資料

5

八方齋 「さては夜の遠足に出掛けましたかな。お弁当も持たずに」
達魔鬼 「一年生の足では、そう遠くへは行つてないはず」
八方齋 「追え！」
達・竜・俊鬼 「ハッ！」

ドクタケ退場。映像【稲光】 SE【カミナリ】

M110 案じよう 〈BGM〉

10

土井先生 「学園長先生」

学園長 「大丈夫じゃ、六年生がついておる」

山田先生 「案じよう」

15

【照明】溶暗。中在家のサスのみに。

映像SE【夜(梟)】〜朝(鶏)〜夜(梟)〜朝(鶏)】

20

(9分15秒)
〈79分30秒〉

第十一場 忍術学園 〈稽古①〉(朝)

一景 舞台稽古 (2分30秒)

【照明】下段上手の長次机の周りに六年生。各自台本広げて登場

5

六年生 「おおッ」

善法寺伊作 「スゴいよ長次！」

食満留三郎 「ワクワクが止まらないぞッ！」

立花仙蔵 「もうこんなに出来上がってるのか！」

10

七松小平太 「兵助の豆腐博士最高だな！」

潮江文次郎 「早く続きが読みたい！」

中在家長次 「この場面の最後には一曲唄う！」

中在家以外 「Let's sing」SE【キラーン】

15

小松田秀作 「(登場)みなさん！ドクタケ忍者隊と土寿鳥・万寿鳥さん入りま〜す！」

学園長・山田・土井先生は中段登場。四・五年生登場。

ドクタケは下段下手登場。その後に、ドスマス続く

20

ドクタケ 「(ガヤガヤと登場)」

潮江文次郎 「ドクタケとドスマスの皆さん。この度はありがとうございます！運営の潮江です！」

八方齋 「ああどうも、稗田八方齋です」

万寿鳥 「二人合わせてドスマスです」

NHKカルチャー特別講座資料

一・四・五・六年生「よろしくお願いします！」

学園長 「みなさん、文化祭への出演感謝します」

八方齋 「学園長、劇をやるそうですな。劇にはスターが必要だ！ハハハ、やりましょう」

俊鬼 「おい、これ何待ち!? 先生待たせるんじゃないよ！」

5 竜鬼 「何も待つてないだろう」

善法寺伊作 「それでは早速稽古を始めます！準備してください！」

食満留三郎 「守一郎」

浜守一郎 「はい！」

立花仙蔵 「喜八郎、台本配つて」

10 綾部喜八郎 「はい、よろしくお願いします！（達魔鬼に）」

浜守一郎 「よろしくお願いします！（万寿烏に）」

竜鬼 「おい一冊しかないのかよ！」

綾部喜八郎 「すみません。みなさんで読んでください。たいして台詞ないので」

達・竜・俊・曇 「おい！」

15 善法寺伊作 「すみません！台詞は少ないですが、カッコよく描かれていますので大丈夫です」

八方齋 「おいお前たち！勘違いするなよ。いい役者つていうのはなあ台詞の量で計るんじゃない！板の上でどれだけ輝けるかだ！」

達・竜・俊・曇 「：はい」

八方齋 「やるぞ！」

綾部喜八郎 「ドクタケさんは上の方に行ってください」

20

SE【シャキーン】 【照明】ドスマスのみ

NHKカルチャー特別講座資料

土寿鳥

「兄貴ますます訳が分からねえ。普通、暗殺者に出演依頼するか!? 兄貴! なにじつくり台本読んでんだよ! 役者デビューするつもりか!? 昔学芸会で一人で緊張して失敗したことあるだろう!」

5
万寿鳥

「昔のことだ土寿鳥。だがこれはチャンスだ。劇の中で学園長に近づき、仕留める。その時を待つんだ(退場)」

土寿鳥

「兄貴セリフ覚えられるのか!?(退場)」

【照明】芝居明かりに

10

綾部喜八郎

「はい! それでは参ります! 第六場へそれぞれの未来の段へ雨宿りをする一年生と六年生。よゝい始め!」

関係者は台本を手に稽古の様子を見守る。

15

(2分30秒)
<82分00秒>

20

第十二場 山の中 〈稽古②〉(夜)

一景 きり丸と中在家と立花くドクタケ (1分45秒)

5

SE【雷十雨】【映像】山と雨(最上段)

立花仙蔵

「(周囲を警戒)ここなら雨を凌げる。今夜はここで野宿としよう」

きり丸

「立花先輩もつと先に進みましょうよ」

中在家長次

「きり丸、無理は禁物だ」

10

きり丸

「これぐらいの雨へつちやらです」

立花仙蔵

「意気込みは分かるが、先を読むんだ」

きり丸

「先を読む？」

立花仙蔵

「そう。雨の中を歩けばどうなる？」

きり丸

「濡れます」

15

立花仙蔵

「濡れたら？」

きり丸

「風邪をひきます」

立花仙蔵

「風邪をひいたら？」

きり丸

「歩けなくなります」

立花仙蔵

「歩けなくなったら？」

20

きり丸

「敵につかまります」

立花仙蔵

「よく読めたな。意気込みだけではどうにもならないときがある。状況が悪いときほど冷静さが必要だ」

NHKカルチャー特別講座資料

きり丸 「でも、敵は迫^{せま}つてるかもしれませんよ」

ドクタケ、最上段に登場。

5 中在家長次 「ならば敵も雨の山道を歩くことになる。きり丸、その先を読んでみなさい」

きり丸 「雨の山道を歩いたら、岩で滑つて怪我します」

俊鬼 「SE【ツルン】(録)●すべったあゝッ！SE【ボギ】(滑つて転ぶ)」

きり丸 「どんどん雨が強くなつて、カミナリが落ちます」

八方斎 「SE映像【カミナリゝガイコツ】(録)●落ちたあゝッ！」

10 きり丸 「そして、がけ崩れが起こります」

ドクタケ忍者隊SE映像【がけ崩れ】(録)●うわあゝッ！」

ドクタケ退場。次景の潮江・食満・しんべエが板付き開始。

15 中在家長次 「いい読みだ」

立花仙蔵 「常に先を読めば、冷静に行動できるはずだ」

きり丸 「はい。では先輩方の先を読みます。お二人とも教え方が上手いから、将来は忍術

学園で先生やっています」

立花仙蔵 「ハハ、私の将来は先生かあ。考えもしなかった」

20 中在家長次 「私は無口だから向いていない」

きり丸 「分からないですよ。未来の中在家先輩は、お喋りになつてるかもしれませんよ」

中在家長次 「未来の私か…」

NHKカルチャー特別講座資料

二景 しんべえと潮江と食満

(2分00秒)

5 食満留三郎 「しんべえ、よく頑張った。ここで一休みだ」

しんべえ 「はい」

潮江文次郎 「留三郎、追っ手の気配はない」

食満留三郎 「文次郎、まだ降り続く。ここで夜を過ごそう」

潮江文次郎 「そうしよう」

10 しんべえ 「潮江先輩と食満先輩がケンカしないで協力した時は、雨が降るって本当だったんですね」

食満留三郎 「(笑)そうだな」

しんべえ 「どうしていつもケンカするんですか?」

潮江文次郎 「まあそれは」

食満留三郎 「ライバルだからだ」

15 しんべえ 「ライバルって、田村三木エ門先輩が目指している」

食満留三郎 「それはアイドルだ。俺と文次郎がアイドルやってどうする!?!」

しんべえ 「でも見てみたい」

潮江文次郎 「しんべえ、ライバルとはいつも張り合うものだ」

しんべえ 「やつぱり二人は仲良しなんですね」

20 食満・潮江 「ん?」

しんべえ 「前に学園長先生が言っていました。二人はいつも張り合いながら一緒に成長して
るって。ケンカするほど仲がいいって」

潮江文次郎 「：学園長先生がそんな事を」

しんべエ 「はい」

食満・潮江 「(抱)学園長先生ッ！」 SE映像【カミナリ】

しんべエ 「先輩、しんべエからお願いがあります」

5 食満留三郎 「何だ言ってみろ」

しんべエ 「僕の代わりに、二人で殿様やつてください」

食満留三郎 「：しんべエの代わりはしんべエにしか出来ない。これは、さだめだ」

しんべエ 「さだめ」

食満留三郎 「そう。持つて生まれた運命なんだ」

10 潮江文次郎 「これからしんべエには大きな仕事がつている。自分が変えたいと思う事は何でも変えて、良くすることが出来る、意義ある仕事だ」

しんべエ 「じゃあランチの種類を増やすことは出来ますか？」

潮江文次郎 「出来る」

しんべエ 「ドリンクバーを作りたい」

15 食満留三郎 「出来るさ！満腹城でな」

潮江文次郎 「その時は俺たちを城に招待してくれ」

食満留三郎 「頼んだぞ、しんべエ」

しんべエ 「はい」

20 三景 乱太郎と善法寺と七松 (1分15秒)

乱太郎 「(しゃくつて泣く)」

NHKカルチャー特別講座資料

善法寺伊作 「：乱太郎」

乱太郎 「すみません。もうしんべエと会えないと思ったら、涙が出てきて」

七松小平太 「乱太郎！泣きたいときは、思いっきり泣いていいんだぞ」

善法寺伊作 「でもね乱太郎。しんべエとは、またいつか会えると思うんだ」

5 乱太郎 「本当ですか？」

善法寺伊作 「だって、しんべエは殿様になるんだ。殿様が乱太郎に会いたって言えば、すぐに会えるんだよ」

七松小平太 「あとこういうことも考えられるぞ。乱太郎が将来一流忍者になって、しんべエ殿がいる満腹城で働くんだ」

10 乱太郎 「へえ」

七松小平太 「で、しんべエ殿がこう言うんだ『乱太郎、あそこの団子屋美味しいと噂だから買ってきてくれ！』ってな！」

乱太郎 「それでは、ただの買い物物係ですよ」

七松小平太 「あ、そっか」

15 善法寺伊作 「きつとしんべエだって、みんなと離れることになって辛いと思うよ」

七松小平太 「でもしんべエは新たな道を歩き始めたんだ。みんなで応援しなきゃな」

乱太郎 「はい」

七松小平太 「いけいけ！」

七松・乱太郎 「どんどーん！」

20 善法寺伊作 「ねえ小平太。僕たちには、どんな未来が待っているんだろう」

七松小平太 「分からね。でも楽しみだな」

善法寺伊作 「そうだね」

NHKカルチャー特別講座資料

M12 未来は微笑む

（ 一年生・六年生 ）
（ 3分 ）

【照明】土井先生と学園長に。

5

学園長

「土井先生、どうしました」

土井先生

「あ、いえ、もしこの物語が本当の話だったら、みんなの未来は、どんな未来になるのかななんて、真剣に考えてしまいました」（台詞15秒。歌まで20秒）

学園長

「良き未来になるといいですね」

10

善法寺・七松

どんな未来が待っているだろう

乱・きり・しん

僕たちの未来

潮江・食満

この道はどこへ続く

立花・中在家

私たちの未来

15

しんべ

ねえ覚えてる？ はじめての遠足

乱・きり

お弁当持って（しんべ）お団子持って

乱・きり・しん

楽しかったね 忘れないよ

六年生

そうさ忘れない はじめての遠足

20

寝転んで夢を 語り合ったね

見上げた空が 大きく見えた

六年生

迷路のように続く道

先は見えなくても

NHKカルチャー特別講座資料

20

15

10

5

一・六年生
六年生

一・六年生

勇気を持って

この山を越えて行こう

降り続く雨が僕らを

さみしくさせるけど

雨は必ず虹に変わる

その向こうに 素敵な未来が

きつと微笑んでいる

未来は

君に微笑む

後奏 11 小節 (25 秒)。M 12 終了。暗転中 13 場板付き

(8 分)

〈 90 分 00 秒 〉

*******聽兵聞者皆俾烈在前*******